

目標達成計画

作成日: 令和元年 9月13日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこで意見をサービス向上に活かしているという項目で、出席者とは運営状況の報告と意見交換を行い、内容を記録している。しかし、会議に欠席した家族への報告書としては十分な会議録とはいえないのが課題である。	1階、2階のスタッフに面会に来られた際には他の家族への参加の働きかけを促してみる。	会議に欠席した家族には、次回の会議案内と会議録を一緒に、毎月請求書に同封し行事予定などを知らせ、参加を促していく。また玄関に会議録を毎月掲示する。	2ヶ月
2	11 (7)	代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させているという項目で、スタッフ全員が会議に参加する体制を作り、職員の提案や意見、希望などを聞き、運営に反映させている。しかしスタッフの夜勤などもあり中々毎月の会議が開催されないのが課題である。	シフト調整などで管理者、リーダーで会議が出来るように調整していく。会議がスムーズに行えるように事前に案件をまとめておく。	会議を開催できるように毎月の開催日をきめる。それに合わせてシフトを調整できるようにする。双方向的な話し合いができるようにし、運営に活かしていく。	2ヶ月
3	35 (13)	火災や地震、水害などの災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いているという項目で、消防訓練は年2回実施している。災害時にはどうすべきかを職員とは常日頃話し合いを設けているも、夜間を想定した訓練を実施できていないのが課題である。	1階、2階でカンファレンスを行い、避難マニュアルに沿って夜間を想定したシュミレーションを実施する。	運営推進会議等を通じ近隣住民へ被災時の救援要請を依頼しておく。東大阪市のハザードマップを玄関に掲示する。避難マニュアルは作成してある。	2ヶ月
4	36 (14)	一人一人の人格を尊重し、誇りやプライバシーを損なわない言葉かけや対応をしているという項目で、職員間では不適切な言動があった時は注意し合える環境はできているが、新人スタッフに対してどう向き合うか、教育沿て行くかが課題である。	新人マニュアルを再作成する。介護マニュアルを再度見直す。	各マニュアルを再度見直し、職員間ですぐに閲覧できるように玄関にファイルで保管し、情報共有に努める。	2ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。